

平成30年6月定例会（付託）
県土整備委員会資料（その4）
県土整備部

とくしま流域水管理計画 計画方針（案）

平成30年6月
徳島県

目 次

1 計画の基本的事項	1
1.1 計画策定の趣旨	1
1.2 計画の期間	1
2 将来展望	2
2.1 過去から今へ伝わる先人の功績とこれまでの取組事例	2
2.2 流域の将来像	8
2.3 水管理の視点	8
3 流域水管理プラン	9
3.1 プランの目標と主な方針	9
3.2 5つの流域水管理プラン	9
I 治水対策プラン	9
II 利水管理プラン	14
III 水循環及び環境創造プラン	17
IV 災害対応向上プラン	20
V 水教育推進プラン	23
4 計画の推進方針	26
4.1 推進体制	26
4.2 個別計画の計画期間及び流域の区分	26

掲載されている動画を閲覧される場合、ご自身の携帯電話等の通信契約の内容によっては、通信事業者からの請求が発生する恐れがありますので、ご注意ください。

1 計画の基本的事項

1.1 計画策定の趣旨

生命の源である水は、蒸発、降下、流下又は浸透により、海域に至る過程で、河川の流域を中心に循環し、人の生活や産業活動等と深い関係を築いてきました。県土の約4分の3を森林が占める本県では、大小の河川が縦横に流れ、これらの河川は、水を提供し、美しい環境を形づくり、人々の心を癒やすなど、県民生活に欠かせない存在となっています。

本県の吉野川流域では、豊かな水と流域一帯の肥沃な土壌が阿波藍をはじめとする文化を育んできたものの、高石垣や上げ舟などの各地に残る洪水遺跡が示すように、古来から浸水被害に苦しめられてきました。現在も、分水による利水が四国全体に大きな恩恵を与えている一方で、本県では洪水による浸水被害が繰り返されています。また、本県有数の穀倉地や工業地帯を有する那賀川流域でも、全国一の日降水量を記録するなどの厳しい自然環境ゆえに洪水はもとより、それに相反する渇水に、長年にわたって苦渋を味わうなど、水に関わる労苦の歴史が積み重ねられてきました。

近年では、南海トラフ巨大地震及び中央構造線活断層帯を震源とする直下型地震の発生も危惧されるなど、あらゆる災害対応も課題となっています。また、人口構造の変化、地球温暖化に伴う気候変動などの多様な要因が水循環に変化を生じさせ、それに伴い、更に深刻な洪水や渇水の発生が懸念されるなど、水問題は、まさに新しい局面を迎えており、川がもたらす甘苦に通じた本県ならではの新たな次元の水管理が求められています。

このため、先人の絶え間ない治水の労苦の歴史に鑑み、「治水の上に利水が成り立つ」との考えの下、いかなる水災害にも正面から立ち向かい、県民の尊い生命と財産を守るため、英知を結集した総合的な水管理に、総力を挙げて取り組むことを決意し、将来の世代に対する責務として、「徳島県治水及び利水等流域における水管理条例」（以下「条例」という）を平成29年4月から施行しています。

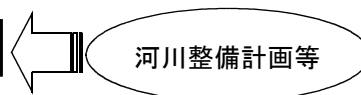
本計画は、条例第7条に基づき、流域における水管理を総合的かつ計画的に推進するため、県民、事業者、教育機関、行政（国、県、市町村）などが連携し、流域の自然的、歴史的、社会的、文化的な特性を重視しながら、他の計画（河川整備計画等）とも連携しつつ、県下全域における水管理に関する計画として策定します。

徳島県治水及び利水流域における水管理条例
(平成28年12月22日制定、平成29年4月1日施行)



とくしま流域水管理計画

図1 とくしま流域水管理計画の位置付け



河川整備計画等



条例概要(動画)

1.2 計画の期間

計画は、概ね30年後の流域の目指すべき姿と目標を定め、徳島県全域における水管理の羅針盤として、目標達成に向けた様々な施策を示し、着実な計画推進の仕組みを掲げます。

2 将来展望

2.1 過去から今へ伝わる先人の功績とこれまでの取組事例

本県では、水防竹林や高石垣、高地蔵や上げ舟など、県内各地に残る洪水遺産が示すように、度重なる洪水に見舞われてきました。一方で、川の氾濫により、肥沃な土壌が形成され、藍作をはじめ、豊かな農作物、文化を享受してきました。このような先人の苦難を偲び、知恵を学び、後世に語り継ぐため、彼らが残した主な功績を紹介します。

『洪水遺産』



水防竹林：洪水による堤防の侵食や家屋流出を防ぐため、徳島藩奨励のもと、沿川住民が堤防に竹藪を植え付けています。



高石垣：洪水による家屋流出を防ぐため、周囲より高く石垣で囲んだものです。

高地蔵：洪水により地蔵が頻繁に水没や流出されたため、地蔵が洪水で浸からないよう、信仰心から台座を高くしています。



上げ舟：洪水時に避難するためのもので、普段は軒下などに吊り上げています。

また、このような功績を称え次世代へつないでいくとともに、近年の度重なる洪水被害から県民の命や財産を守るため、これまで事業展開してきた治水対策のほか、川を活かした“とくしま”の魅力を発信する取組事例を紹介します。

治水対策の取組事例

●吉野川上流（脇町第一箇所）における堤防の整備（効果：洪水による浸水を防ぐ）



出典：四国地方整備局徳島河川国道事務所

●吉野川上流（芝生箇所）における堤防の整備（効果：洪水による浸水を防ぐ）



出典：四国地方整備局徳島河川国道事務所

●旧吉野川における地震・津波対策（効果：大規模地震・津波による浸水を防ぐ）



出典：四国地方整備局徳島河川国道事務所

●那賀川（深瀬地区）における堤防の整備（効果：洪水による浸水を防ぐ）



出典：四国地方整備局那賀川河川事務所

●長安口ダム（那賀川）の改造（効果：ダム下流の浸水被害を減らす）



出典：四国地方整備局那賀川河川事務所

●那賀川（加茂地区）における堤防の整備（効果：洪水による浸水を防ぐ）



出典：四国地方整備局那賀川河川事務所

●那賀川（和食・土佐地区）における堤防の整備（効果：洪水による浸水を防ぐ）



●飯尾川における総合的な治水対策（効果：床上浸水被害の軽減）

・角ノ瀬排水機場の整備



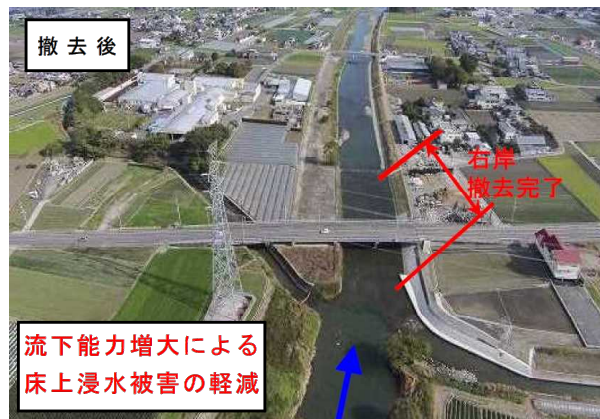
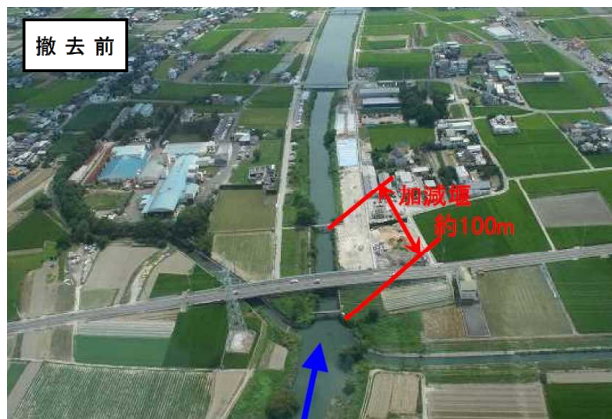
出典：四国地方整備局徳島河川国道事務所



・飯尾川第二樋門の改築



・加減堰の撤去



川を活かした“とくしま”の魅力を発信する取組事例



とくしまマラソン



マチ★アソビ



とくしまマルシェ



新町川クルーズ



新町川公園（LED）



カヌー



ラフティング

三好市提供



大歩危遊覧船

三好市提供

2.2 流域の将来像

この基本計画では、「永久に続く、夢と希望が膨らむ『OUR（あわ）の水』社会」を目指すべき流域の将来像とし、水管理の視点に基づき、将来を見据えた様々な施策を展開し、望ましい流域づくりを着実に推進します。

＜目指すべき将来像＞

「永久に続く、夢と希望が膨らむ『OUR（あわ）の水』社会」

- ・ 度重なる洪水被害との決別
- ・ 安定的に水の恵みを楽しむ
- ・ 豊かな自然環境を継承
- ・ 災害を迎え撃つ万全の備え
- ・ 積み重なる水の歴史を共有

2.3 水管理の視点

“過去” から受け継ぎ、育まれてきた「OUR（あわ）の水」を、“現代” を生きる私たちの使命として、“未来” へ紡（つむ）ぐため、「まちを創る」、「人を育てる」、「活力を生み出す」の3つの視点を持って、「新次元の水管理」を展開します。

3 流域水管理プラン

3.1 プランの目標と主な方針

水管理を総合的かつ計画的に推進するため、条例で定めた「治水」「利水」「水循環及び環境」「災害対応」「水教育」の5つの柱ごとに取り組むべき「流域水管理プラン」の目標及び主な方針を定めます。また、目標達成に向けた様々な施策については、県民、事業者、教育機関、行政（国、県、市町村）等が連携して進めます。

3.2 5つの流域水管理プラン

Ⅰ 治水対策プラン

現状と課題

- ・ 地球温暖化に伴う気候変動が引き起こす深刻な洪水発生が懸念されています。
- ・ 氾濫原における宅地化が進行し、浸水被害が拡大する恐れがあります。
- ・ 県民を安全に避難させるため、河川情報等のより一層正確かつ迅速な発信が求められています。

目標と主な方針

- 【目 標】 県民の命と暮らしを守る治水を最優先とした水管理
- 【主な方針】 ①洪水を安全に流す川づくり
②水災害に強いまちづくり
③県民の安全な避難の確保

基本施策

○ 河川・下水道対策、流域対策を組み合わせた総合的な治水対策の推進

【概 要】 流域全体を視野に入れ、森林整備、河川整備、下水道対策などの様々な流域対策を組み合わせた総合的な治水対策を推進します。

【主な取組内容】

- ・ ダム・築堤・河道掘削・漏水対策・堰堤等の組み合わせを最適化
- ・ 住宅地を流れる水路や小河川の付け替えによる洪水の迂回<新規>



河川改修（園瀬川）

○ 河川施設等の地震・津波対策の推進

【概要】 南海トラフを震源とする巨大地震等が引き起こす河川管理施設の損傷や津波による浸水被害を軽減するため、河川管理施設を強化します。

【主な取組内容】

- ・河川堤防，海岸堤防等について液状化対策等の耐震対策の推進
- ・水門，樋門等の閉扉操作の自動化，高速化，遠隔化等の計画的な実施



閉扉操作の自動化された陸こう

○ 総合的な土砂管理の推進

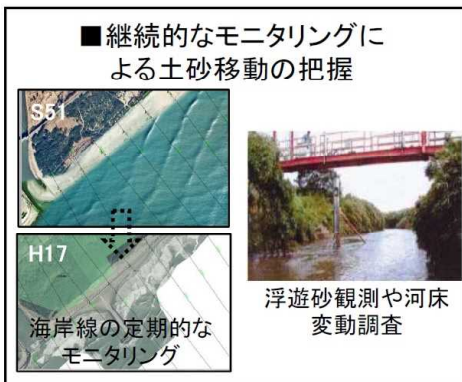
【概要】 継続的な河川内の土砂除去に加え、上流域の森林における土砂流出対策、河川内の土砂動態の把握など、総合土砂対策を推進します。

【主な取組内容】

- ・河川内の土砂動態や河川環境への影響を把握するため、継続的な調査の実施など総合的な土砂管理の推進
- ・学識経験者等と連携した総合土砂管理計画の策定
- ・除去した土砂等の可能な限りの有効利用

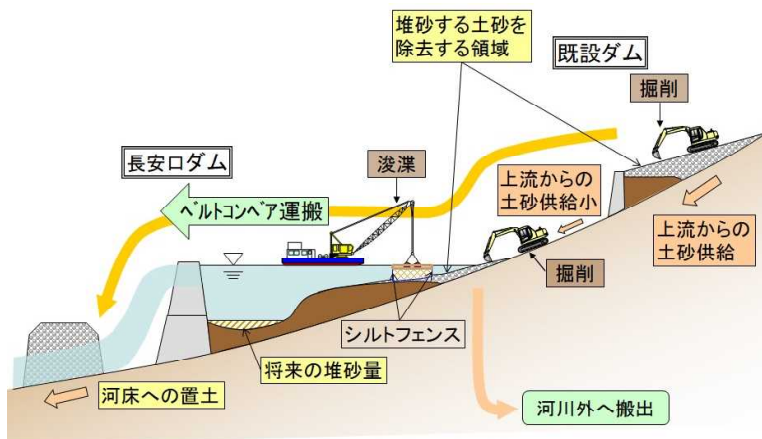


那賀川における土砂還元の概要（動画）



総合的な土砂管理のイメージ

出典：国土交通省HP



長安ロダムで新たに取り組む堆砂対策のイメージ



河川の堆積土砂を有効活用した津波避難施設（小松島市）

○ 河川管理施設等の計画的・効率的な維持管理

【概要】

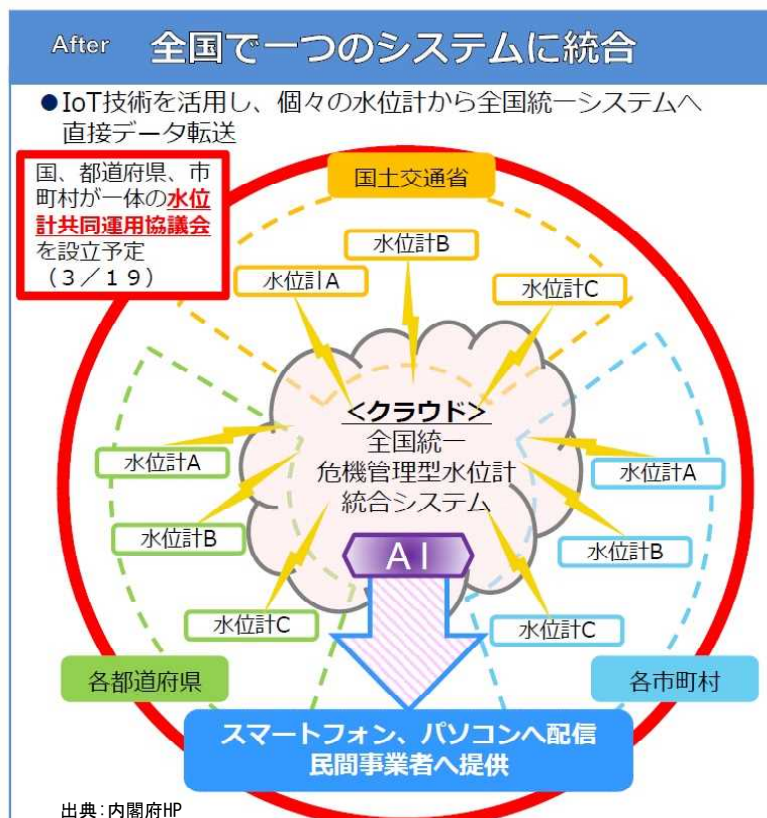
河川管理施設の老朽化及び損傷等による機能喪失、低下を防止するため、計画的な維持管理や施設を更新します。

【主な取組内容】

- ・河川管理施設の長寿命化計画の作成
- ・リバーアドプト等の地域住民と連携した河川管理・美化活動の推進
- ・IoT技術を活用し、点検データ等をクラウドデータベースで管理<新規>
- ・産官学が連携したロボット技術活用による河川管理<新規>



かわ普請（新町川）



IoT技術を活用したデータ管理のイメージ

○ 河川整備と一体となった土地利用

【概要】

河川整備等のハード対策に加え、建築制限等のソフト対策が一体となった総合的な浸水対策を実施します。

【主な取組内容】

- ・洪水等による浸水被害が発生する恐れのある区域について、河川整備と一体となって建築制限がかかる河川等出水警戒区域として指定・周知
- ・未整備箇所での家屋等の洪水保険加入への支援制度<新規>
- ・要配慮者利用施設等における避難計画の策定、避難訓練等の継続的な実施
- ・流域の生態系が有する貯留機能に配慮した土地利用の推進



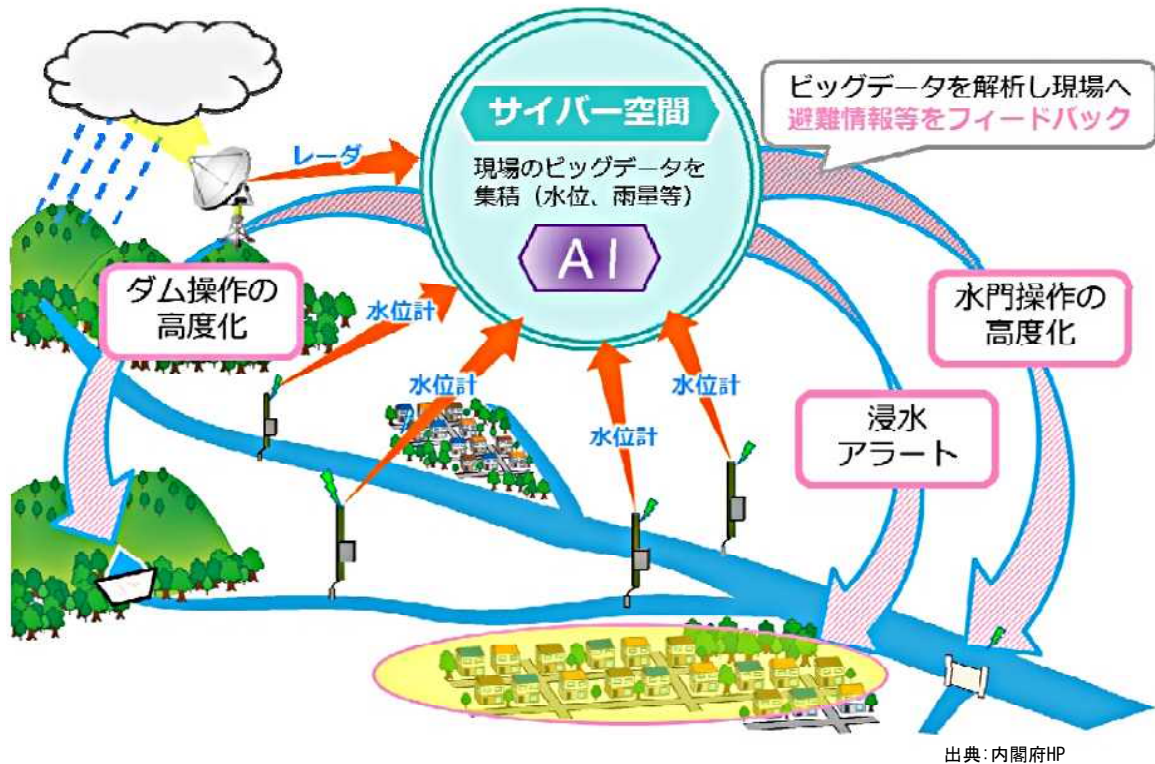
社会福祉法人健祥会提供
避難訓練実施の様子

○ 避難判断等に必要となる情報の収集・配信

【概要】 洪水等の発生時，県民が迅速かつ円滑に避難できるよう，わかりやすい河川情報などを収集・配信します。

【主な取組内容】

- ・山腹崩壊や堤防決壊などが想定される危険箇所の常時監視<新規>
- ・A I（人工知能）を活用した精度の高い水位予測やダム操作<新規>
- ・スーパーコンピューター等を活用した次世代の気象予報の活用<新規>



AIを活用した新たな取り組みのイメージ

II 利水管理プラン

現状と課題

- ・ダム施設の老朽化対策や貯留機能の確保が必要となっています。
- ・地球温暖化に伴う気候変動により深刻な渇水の発生が懸念されています。
- ・地球環境に負荷の少ない「再生可能エネルギー」普及を求める声が高まっています。

目標及び主な方針

【目 標】 限りある水資源を最大限に利用する水管理

- 【主な方針】
- ①持続可能な水利用
 - ②渇水被害の最小限化
 - ③水資源の新たな活用

基本施策

○ 貯留機能の維持・向上

【概 要】 ダム施設の維持管理等を戦略的に行い、貯留機能の維持及び向上を目的とした必要な措置により、着実なダムの延命化を図ります。

【主な取組内容】

- ・ダムの定期点検や設備の維持修繕の実施に加え、堆砂状況の把握などにより、貯留機能の維持及び向上
- ・洪水後期の放流量減量と治水容量への貯留による利水機能の強化<新規>
- ・貯水池又はダム上流部での土砂流出防止対策<新規>



ダム施設の定期点検と維持補修（正木ダム）



出典：国土交通省HP

貯砂ダムによる土砂流入の軽減

○ 新たな水資源の確保

【概 要】

堰堤に貯留した流水の利用など、限られた水資源の効率的な利用や新たな水資源を確保します。

【主な取組内容】

- ・水の反復利用や再生水等の活用
- ・海水淡水化等による新たな水の確保<新規>



堰堤に貯留された流水

○ 地域の実情に応じた多様な流水エネルギーの活用

【概要】

再生可能エネルギーとしての流水を有効活用します。

【主な取組内容】

- ・河川や農業用水に加え、排水路も含めた多様な小水力発電を推進
- ・水力発電の普及に係る事務手続きの簡素化や啓発活動
＜新規＞



小水力発電（那賀町）

○ 安全で安定した農業・水道・工業用水等の供給

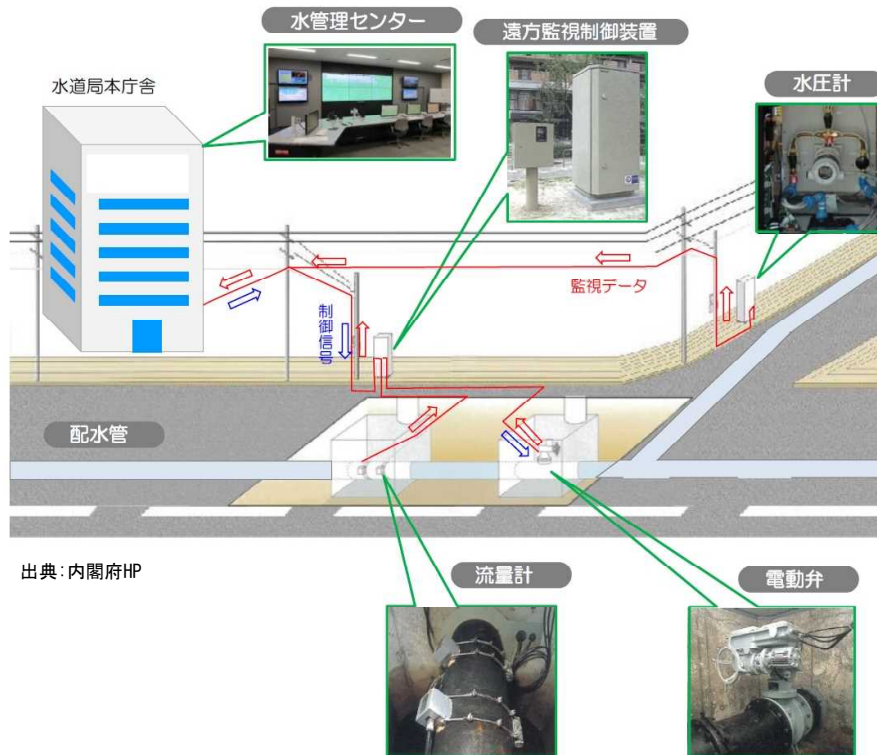
【概要】

各施設管理者による日頃からの適切な施設の維持管理や、必要な水量の取水及び配分を目的とした施設保全等の施策を実施します。

【主な取組内容】

- ・農業、水道、工業用水等の各施設の日常点検等の実施
- ・取水施設や送水施設の遠隔監視の実施＜新規＞

■配水調整システム概要図



日野谷発電所点検（動画）

出典：内閣府HP

水道施設の遠隔監視の事例



管内カメラによる点検の事例

○ 渇水時の被害軽減対策

【概要】 異常渇水時や発生予測時において、水利使用者間の円滑な水利使用調整を行うなど、被害の最小化を図る対策を実施します。

- 【主な取組内容】**
- ・事前渇水行動計画の作成等による渇水被害防止
 - ・利水サポート団体による節水及び渇水対策等の強化
 - ・A I（人工知能）による精度の高いダム貯水率の予測＜新規＞
 - ・家庭等におけるトイレ等建築物の超節水化技術の開発・導入＜新規＞



出典：四国地方整備局徳島河川国道事務所

水利使用者間の円滑な水利使用調整
（吉野川水系水利用連絡協議会）



利水サポート団体の認定

III 水循環及び環境創造プラン

現状と課題

- ・ 担い手不足等により、水源地域における管理放棄地の増大が懸念されます。
- ・ 水に親しみ、触れあうことのできる川づくりが求められています。
- ・ 人工的に整備された河川の自然環境を回復する気運が高まっています。

目標及び主な方針

【目 標】 豊かな水資源と多様な環境を創出する水管理

- 【主な方針】
- ①水を育む自然環境づくり
 - ②自然を堪能できる河川環境づくり
 - ③生物が集う流域づくり

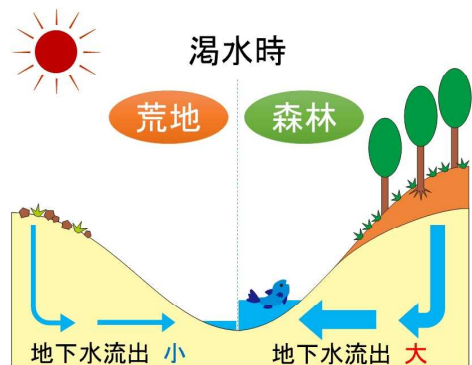
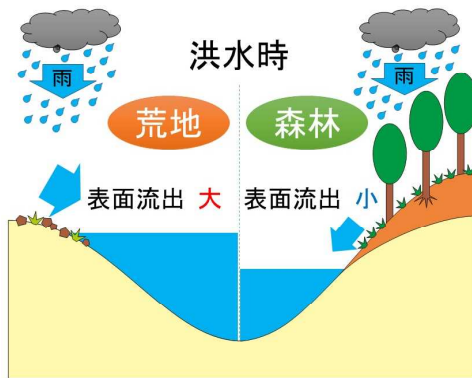
基本施策

○ 水の涵養機能の維持・向上

【概 要】 森林、農地等における健全な水循環の維持又は回復を目的とした整備等により、治水・利水面にも効果的な水の涵養機能の維持及び向上を図ります。

【主な取組内容】

- ・ 森林環境税活用による森林整備に係る人材育成・担い手確保等<新規>
- ・ 積極的な沿川農地の整備・保全<新規>
- ・ 建築物等における雨水貯留・浸透施設の整備などによる雨水涵養対策の実施<新規>
- ・ 河床等から地下水へ浸透する構造を整備



水源涵養機能のイメージ



林業アカデミー
(動画)



協働の森づくり
(動画)



企業等と協働して森林整備を行う「とくしま協働の森づくり事業」

○ 安心して安全な水質保全対策の推進

【概要】 河川の現況把握や水質向上を目的とした浄化対策などの安心・安全な水質保全対策を推進します。

【主な取組内容】

- ・流量や水質状態等の継続的な監視
- ・地域の実情に応じた生活排水処理施設整備手法の最適化<新規>
- ・淀みや溜まっている泥や藻類を掃流するフラッシュ放流の実施<新規>



水環境保全取組
紹介（動画）



水質観測（採水状況）



水質観測（透明度の測定）

○ 良好な流域環境・水環境及び多様な生態系の保全・再生

【概要】

河川を含めた流域における良好な環境・景観及び多様な生態系について、保全・再生を目的とした施策を推進します。

【主な取組内容】

- ・産学官民連携による生態系の保全
- ・多自然川づくりや、建物等の屋上・壁面の緑化等によるグリーンインフラ整備<新規>
- ・地下水の定期的な調査や地盤沈下の実態把握
- ・洪水調節容量への貯留水活用による維持流量の増量放流<新規>



多自然川づくり（明連川）

○ 地域の活性化に資する水辺環境の創出

【概要】 観光及びスポーツの振興等による賑わい、美しい景観、豊かな自然環境を備えた水辺を再生・創出します。

【主な取組内容】

- ・水辺をスポーツレクリエーション活動の場として積極活用
- ・洪水調節容量に貯留した流水の観光放流<新規>
- ・水陸両用バス等の導入による水辺の観光地化の促進<新規>



親水護岸の整備



水辺の活用（水辺で乾杯）



出典：四国地方整備局徳島河川国道事務所
カヌー等の入水場所の整備



北島町提供
親水状況（SUP）



水陸両用バス



出典：湯西川ダックツアー（栃木県）HP

IV 災害対応向上プラン

現状と課題

- ・水防団員の減少や高齢化の進行により、適切な水防活動の実施が懸念されています。
- ・関係機関との情報共有や連携に加え、迅速かつ確実な避難判断の伝達の必要性が高まっています。
- ・気候変動の影響により、想定外の災害に対する事前の備えの重要性が高まっています。

目標及び主な方針

【目 標】 事前の備えを固め、迎え撃つ災害対応

- 【主な方針】
- ①県民と行政による相互連携
 - ②フレキシブルな災害対応
 - ③あらゆる災害を想定した事前対応

基本施策

○ 県民の安全を確保する避難勧告等の適切な発令の促進等の市町村支援

【概 要】 多様な場面において県民の安全確保を目的とした市町村への支援を実施します。

- 【主な取組内容】
- ・河川水位や雨量など河川情報のリアルタイムでの収集・整理
 - ・河川カメラ等の情報基盤の整備による細やかな情報提供
 - ・大規模水害時の衛星等による管理施設の緊急点検<新規>



<危機管理型水位計の特徴>

- ※従来型の1/10以下のコスト
(100万円/台以下)
- ※長期間メンテナンスフリー
(無給電5年以上稼働)



出典：国土交通省HP

危機管理型水位計

○ 適正かつ確実な水防活動の継続をはじめとする地域防災力の強化

【概要】 地域における世代間の交流を深めながら、水防団への積極的な参加を促すなど、地域防災力を強化します。

【主な取組内容】 ・水防資機材の備蓄、水防工法の普及、継続的な水防訓練を実施とそのPR活動
・豊富な技術・経験等を有したウルトラ水防団員の養成<新規>



水防訓練



吉野川水防演習
(動画)

○ あらゆる水災害による被害を想定した事前対策の推進

【概要】 洪水又は津波等による浸水発生時における被害の拡大防止や施設等の速やかな機能回復を目的とした、あらゆる水災害への事前対策を実施します。

【主な取組内容】 ・関係機関で組織する放置艇対策推進会議の設置による連携強化<新規>
・地震津波と洪水など、複合災害を想定した対策や応急対応<新規>
・あらゆる水災害から命を守る全災害対応シェルターの設置<新規>
・河川管理施設等の耐水化や事前復旧計画の策定<新規>



耐水化の事例



放置艇の撤去状況



総合防災訓練
(動画)

○ 震災時等の水資源の確保対策の推進

【概要】

震災時等の水資源の確保を図るため、水の円滑な融通を目的とした水利使用者間における連携・調整を強化します。

【主な取組内容】 ・農業、水道、工業用水等の各施設の計画的な耐震化の推進
・施設の増設や給水代替ルート等のバックアップ能力の確保
・再利用水（中間水）や井戸水の活用促進
・指定消防水利等の活用による消防水利の多様化と適正な配置

○ 河川管理施設等の防災機能の活用

【概要】 震災等発生時における避難場所や救援物資等の置場、避難路、緊急輸送路など、防災機能として河川管理施設等を活用します。

- 【主な取組内容】
- ・河川管理施設の避難場所や救援場所の置場等への活用
 - ・舟運による細やかな物資搬出入
 - ・河川水の非常用飲料水への活用による避難者等への支援<新規>
 - ・消防水利活用を目的とした川等への坂路や取水施設等の整備<新規>



消防坂路の整備例



災害時に活動拠点となる西部防災館（美馬市）



健康防災フェスタ
（動画）



出典：四国地方整備局徳島河川国道事務所

中島地区河川防災ステーション（美馬市）

V 水教育推進プラン

現状と課題

- ・ 行政用語や専門用語を使用した授業形式での水教育では、子どもたちの関心や理解が深まらない恐れがあります。
- ・ 県民との連携不足により、水教育が単発的・地域限定的な実施に留まる可能性があります。
- ・ 水教育関連のイベント等の多様なPR活動により、県民の理解や関心をより一層深める必要があります。

目標及び主な方針

【目 標】 “とくしま” ならではの水管理を次世代へ継承する水教育

- 【主な方針】
- ① 子供目線で進める水教育
 - ② 全ての県民が関わる水教育
 - ③ 県を越えて広がる水教育

基本施策

○ 次世代を担う子供たちをはじめとする、地域住民への水教育の推進

【概 要】 地域住民及び教育機関等と一層の連携を図り、次世代を担う子供たちなどを対象として積極的に参加を促し、対話型の体験学習、ワークショップ等での水教育を推進します。

- 【主な取組内容】
- ・ 幼児から高齢者までの各ライフステージにおける環境学習の促進
 - ・ 学校と連携した発達段階に応じた水循環に関する教育の推進
 - ・ 河川環境や水防の学習会の実施
 - ・ 治水や利水の歴史、水文化等の歴史的資料展示による啓発
 - ・ 川の歴史及び文化を探る研修会・イベントの実施
 - ・ 川の水源となる山の環境を含めた流域における教育の展開



水防学習
(動画)



河川環境学習

○「OUR(あわ)」の水文化等を継承するための人材育成

【概要】 県民が水に関わる歴史・水循環等の重要性を正しく理解できるよう県民への節水等の啓発や防災情報の理解度向上を推進する人材の育成と活動の支援を行います。

【主な取組内容】

- ・節水啓発等に係る交流の場である水教育担当者交流会議の開催<新規>
- ・水質保全や節水等を啓発するエコライフ指導員の養成<新規>
- ・文化財を保全・伝承していくための保存団体や後継者の育成
- ・子供たちが川で安心して親しめるよう支援する人材の育成<新規>



出典：四国地方整備局徳島河川国道事務所

洪水遺産の伝承活動（歴史探訪）

○水教育を効果的に実施する仕組みの構築

【概要】 効果的に水教育を推進するため、水に関わる資料やわかりやすい教材などを用いて幅広い普及啓発を行う仕組みを構築します。

【主な取組内容】

- ・4K動画など創意工夫のある水教育教材の作成と多様な活用
- ・徳島県水防の日等における啓発を図る行事の開催
- ・洪水時の川の恐怖を疑似体験できるバーチャル体験館等の拠点整備<新規>
- ・水に関わる歴史的資料の収集・保全・活用
- ・高地蔵などの洪水遺産等を流域水管理遺産（仮称）として認定<新規>
- ・人々が集える河川管理施設等の散策道への活用<新規>
- ・県民が防災情報を身近に感じるツールの開発及び普及啓発<新規>
- ・自ら考え率先して避難行動できる意識を醸成する防災教育の推進<新規>



水防の日（排水ポンプ実演見学）



水の日（8月1日）の関連行事（打ち水）

○ 水教育の考え方を効果的に県内外へ向け発信

【概要】 県民誰もが容易に水教育の場へ参加できるような環境づくりを進めるとともに、県内の水教育を全国へ発信します。

- 【主な取組内容】**
- ・学校や住民等を対象とした川の上下流交流会の開催
 - ・水関連の遺産等を観光資源とした流域ツーリズムの実施<新規>
 - ・水情報を県内外へ発信する水管理計画推進サポーターの認定<新規>



ダム湖でウェイクボード

三好市提供



河川敷がパラグライダー着地場に

体験型観光の推進



上下流交流会（上下流の子供たちと源流へ）



水情報の発信（吉野川フェスティバル）

4 計画の推進方針

4.1 推進体制

各流域ごとの水管理計画（以下「個別計画」という。）では、「未来へ紡ぐあわの水会議」メンバーから選任した協議会を設置し、策定を進めます。また、個別計画に基づく様々な施策を推進するため、多様な主体（県民，事業者，教育機関，行政（国，県，市町村）等）が広範囲な空間（上流から中流，下流や支川から本川など）で連携強化を図ります。

また、個別計画には、施策毎に管理指標を設定し、PDCA サイクルに基づく進捗管理を行います。



図2 推進体制のイメージ

4.2 個別計画の計画期間及び流域の区分

個別計画の計画期間は、10年間とし、5年目に中間評価及び計画の見直しを行います。

また、流域の区分は、水系単位に加えて、地域の特性や実状など、水管理上の課題を有する地域ごとに設定することとし、吉野川上流域，吉野川下流域，那賀川流域，勝浦川流域，海部川・宍喰川流域，その他重要河川の流域とします。